



交流フェスティバル

全校児童による一輪車の演技(大運動会)

幼小同学習発表会・校区文化祭

はんやジュニア大会

交流給食(全児童・園児)

読み聞かせ集会

一条神社「太鼓踊り」

ねったぼ作り(高齢者との交流)

本校は、市の中心部から北西部に位置し、四方を山に囲まれた自然豊かな田園地帯の中にあります。本校区は、川内川の支流麦之浦川に沿って東西2km、南北8kmに延びる細長い校区で、隣接した市街地までは車で10分程度と便利な場所にあります。中央部を旧薩摩街道が縦断していることもあり、西郷隆盛ゆかりの地をはじめとする史跡・旧跡も数多く存在しています。

全児童数は19人(男子9人、女子10人)ですが、保護者や地域の方々の教育に対する関心が高く協力的で、運動会や学習発表会などを中心に、地区と学校が一体となっており、地区で取組んでいます。また、少人数の良さを生かした教育活動にも取り組んでいます。

【特色ある教育活動】

① **全校児童で取り組むはんやア大会**には、その前身である「はんや全国大会」から毎年参

加しています。5・6年生を中心にテーマを設置し、それをイメージした動きをみんなで作っています。全校児童が一体となって取り組む「はんや踊り」は本校の代名詞となっています。

② **みんなが乗れる一輪車**

1校1運動として一輪車に取り組んでいます。朝や昼休みの練習にも自主的に取り組み、上級生が下級生に優しく指導しています。運動会では、競技はもちろん入場も一輪車に乗って行きます。

③ **交流活動**

高齢者の方々とのグラウンドゴルフやねったぼ作り、地域と合同の文化祭や運動会などの交流活動を行っています。また、併設の高城中央幼稚園とは、運動会などの行事の他、交流給食などの交流も行っています。5・6年生は、中高生や青年と一緒に一条神社に奉納する太鼓踊りにも参加しています。

笑顔いっぱい 挨拶いっぱい
創立134年 校訓「やさしく かしく たくましく」

陽成小学校



VOICE

陽成小学校 福倉 泰一郎 校長

『陽気発処。金石亦透 精神一到 何事不成』朱子学の創始者である朱熹の格調高い言葉に由来している「陽成」の地名。その名の通り、信念を深く持つこと、こつこつと粘り強く努力すること、そして進んで取り組むことのできる陽成の子を育てていきたいと思っています。



農林水産省が募集した「第35回全国海の子絵画展」で、手打小学校2年生の谷尾琴弥さんが水産庁長官賞と全漁連会長賞を受賞しました。4月22日(月)、手打小学校で伝達式が行われ、甑島漁業協同組合の大重副組合長より賞状2枚と金メダルが渡されました。

下甑 海の子絵画展で2つの賞を受賞しました



市内各地から
色鮮やかに咲くアジサイが
水無月の景色を彩ります
(下川内町)

平成25年5月21日撮影



5月12日(日)、斧淵地区コミュニティ協議会による農業体験イベント「おのぶち塾」が行われました。子どもから高齢者までの約160人が参加し、手作業での菜種落しを体験。終了後はおにぎりとお汁を食べるなど、充実したひとときを過ごしました。

東郷 おのぶち塾で農業の伝統技術を体験



5月12日(日)、蘭牟田池県立自然公園で、ベッコウトンボ観察会・蘭牟田池ボランティアクリーン作戦が開催されました。参加した160人のボランティアは、ラムサール条約の登録地に生息する貴重な動植物について学びながら、清掃活動を行いました。

祁答院 蘭牟田池に生息する希少動植物を守ろう



4月21日(日)、藤本農村公園で、藤本馬頭観音奉納相撲が行われました。3月で藤本小学校が廃校になり開催が心配されましたが、榑脇、市比野、蘭牟田小学校から16人の児童が集まり開催。個人戦、3人抜きなどちびっこの熱戦が繰り広げられました。

榑脇 豆力士たちが力比べ 藤本馬頭観音相撲



5月3日(金)、上甑町江石自治会で、第30回江石大運動会が開催されました。初夏を感じる青空の下、幼児から高齢者まで参加できるプログラムに、帰省客や地区外からもたくさんの参加者があり、高齢化率が6割を超えるいつも静かな集落は、終日にぎやかな歓声に包まれました。

上甑 歓声に包まれ 恒例の大運動会開催